



## Cisco Crosswork Workflow Manager 1.0 リリースノート

初版：2023年6月1日

最終更新：2023年6月9日

### シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先：シスコ コンタクトセンター

0120-092-255（フリーコール、携帯・PHS含む）

電話受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>





# 第 1 章

## CWM 1.0 リリースノート

---

ここでは、次の内容について説明します。

- [はじめに](#) (1 ページ)
- [製品の概要](#) (1 ページ)
- [機能](#) (2 ページ)
- [既知の問題と制限事項](#) (3 ページ)
- [互換性情報](#) (5 ページ)

### はじめに

このドキュメントでは、製品の概要、機能、既知の問題と制限事項、互換性情報、VM要件など、Cisco Crosswork Workflow Manager 1.0 に関する情報を提供します。

### 製品の概要

Crosswork Workflow Manager アーキテクチャは、Kubernetes コンテナ オーケストレーション システム上で動作するマイクロサービスベースのソリューションです。

CWM 1.0 を使用すると、ネットワーク管理タスクを自動化する独自のワークフローを構築し、そうしたタスクを低リスクで反復可能なものにできます。CWM は、アダプタを使用して既存の外部システムおよびアプリケーションに統合できます。**アダプタ SDK** を使用して環境に合うようカスタムアダプタを調整するか、次の2つの構築済みアダプタソリューションを使用できます。

- Cisco Network Services Orchestrator (NSO) 用アダプタ、および
- REST API をサポートする任意の外部システムで使用できる汎用 Representational State Transfer (REST) アダプタ

# 機能

このセクションでは、CWM 1.0 で使用可能な機能について説明します。

表 1: CWM 1.0 でリリースされた機能

機能	説明
ワークフロー管理プラットフォーム	CWMでは、イベント履歴ログと、複数のワークフロー実行を実施、再実行、またはキャンセルするオプションを使用して、ワークフローのライフサイクル管理ができます。
サーバーレスワークフローと DSL 仕様に基づくワークフロー作成	CWMでは、サーバーレスワークフロー仕様に基づくワークフロー定義にベンダーに依存しないドメイン固有言語（DSL）を活用します。
グラフィカル ユーザ インターフェイス	CWMには、そのコア機能としてグラフィカル ユーザ インターフェイスがついています。 CWM GUI で使用可能な機能： <ul style="list-style-type: none"> <li>ワークフロー定義の保存と実行。</li> <li>ワークフロー定義とワークフロー実行の管理。</li> <li>ワークフロー実行のログと履歴の確認。</li> <li>ワーカーの追加。</li> <li>管理アクティビティ：ユーザーアクセスと権限の管理。</li> </ul>
VMware vSphere での OVA ファイルを使用した簡易インストール	CWM は、vSphere vCenter を使用して OVA イメージを展開することにより、ゲスト仮想マシンとしてインストールされます。
ノースパウンド統合と API Postman コレクション用の Swagger 対応 REST API	CWM API は Swagger を介して公開されます。また、Postman コレクションとしても使用できます。
NSO および REST API 用のすぐに使用できるアダプタ	CWM には 2 つのアダプタが付属しているため、Cisco NSO および REST API が有効になっているシステムとの統合が可能です。
カスタムアダプタを構築するための SDK	アダプタを構築して、外部システムやアプリケーションと統合できます。

機能	説明
ワークフローの耐障害性	ワークフローはシステム内の障害から回復可能です。
LDAP および SAML SSO 認証をサポートするアクセス管理	管理者による、GUI を使用したユーザーアクセスと権限の管理を可能にする機能です。CWM によって、ローカル、LDAP、および SAML ユーザーをサポートする単一認証エージェントが有効になります。
正常性の管理とログ	CWM を通じて、Kubernetes コマンドラインツール (kubectl) を介した正常性管理と、Grafana Loki でログを表示するための可用性がもたらされます。
サンプルワークフロー	CWM には、直ちに実行できるようすぐに使用可能なサンプルワークフローが含まれているので、Crosswork Workflow Manager で使用されるワークフロー作成の学習曲線をスピードアップさせます。

## 既知の問題と制限事項

ここでは、既知の問題と制限事項について説明します。

表 2: 既知の問題と制限事項

問題/制限事項	説明
サーバーレスワークフローの制限付き機能サポート	<p>CWM 1.0 では、以下のサーバーレスワークフロー仕様で提供される機能のサブセットをサポートしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• アダプタアクティビティへの <a href="#">カスタム関数タイプ</a> のマッピング</li> <li>• ワークフローの状態： <ul style="list-style-type: none"> <li>• <a href="#">動作状態</a></li> <li>• <a href="#">スイッチの状態</a> (データ条件のみ)</li> <li>• <a href="#">スリープ状態</a></li> <li>• <a href="#">注入状態</a></li> <li>• <a href="#">ForEach状態</a></li> <li>• <a href="#">並列状態</a></li> </ul> </li> <li>• 再試行定義</li> <li>• ワークフローデータ <ul style="list-style-type: none"> <li>• データ入力</li> <li>• データフィルタ <ul style="list-style-type: none"> <li>• <a href="#">状態データフィルタ</a></li> <li>• <a href="#">アクションデータフィルタ</a></li> </ul> </li> <li>• データのマージ</li> </ul> </li> <li>• <a href="#">ワークフロー式</a> : <a href="#">jqバージョン1.6</a> を使用して定義</li> <li>• ワークフロー操作 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <a href="#">関数参照のコール</a></li> </ul> </li> <li>• <a href="#">ワークフローの補正</a></li> </ul>
軽微なアクセシビリティの問題	<p>キーボード (タブまたはラベル) を使用して UI の要素にアクセスできない、タブシーケンスが UI に表示されるフィールドに従っていない、フォーカスがある項目を簡単に識別できないなどの既知の問題がいくつかあります。</p>

問題/制限事項	説明
ワーカーの作成時に軽微なメモリリークが発生する	新しいワーカーを作成すると、小さなメモリリークが発生します。この問題は、ほとんどの標準的な使用例でシステムパフォーマンスに影響しません。

## 互換性情報

ここでは、互換性情報について説明します。

表 3: 互換性情報

ハードウェアおよびソフトウェア	サポートされるバージョン
プロトコルバッファ (Protobuf)	v3
サーバーレスワークフロー仕様	v0.8
Swagger	v2.0
VMware vCenter	vSphere 7.0





## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。